

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 7名回答、回答率 90%
保護者様： 14名回答、回答率 55%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・中高生を対象とした教室なのでもう少し指導訓練室のスペースが広いほうが良い。
- ・男女別のトイレが望ましい。
- ・法令上必要な人員は整っているものの、児童特性や利用児童数等、曜日によって職員の配置が十分ではない感じる。

○業務改善

- ・全職員がスキルアップができるよう研修を実施、受講したい。

○適切な支援の提供

- ・療育活動を固定化しないでその月のテーマに沿ってバリエーション豊かに取り組んでいる。
- ・平日は業務前、土曜日は業務後にミーティングや振り返りを行い、支援について共有を行い記録をとっている。
- ・毎日療育記録を記入して、支援の検証、改善に取り組んでいる。

○関係機関や保護者との連携

- ・学校、保護者としっかり情報共有を行っている。また、サービス提供記録などを使って保護者とコミュニケーションを図っている。
- ・区の連絡協議会に年に2回参加して、他事業所と意見交換を行っている。

○保護者への説明責任等

- ・契約時に利用者負担について、支援内容は説明している。
- ・個人情報には注意している。

○非常時等の対応

- ・月に1回避難訓練を行い、利用者はもちろんスタッフも訓練を行っている。
- ・ヒヤリハットが起きた場合、記録を残した上でミーティングで共有を行っている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・もう少し活動のスペースが広いといい。
- ・一時的に職員が少ない時があった。今は増えている。
- ・バリアフリー化はあまりされていない。

○適切な支援の提供

- ・毎日変化に富んでいる。
- ・健常児との交流がないので、たくさん交流の場を増やしてほしい。

○保護者への説明等

- ・支援内容、利用負担について丁寧に説明がされている。
- ・常に子どもの情報交換をすることが出来ている。
- ・父母の会は行われていない。
- ・連絡帳で日々の情報伝達が出来ている。
- ・個人情報には十分注意できている。

○非常時等の対応

- ・緊急時対応が示されていないので示してほしい。
- ・定期的に避難訓練が実施されている。

○満足度

- ・子どもは通所を楽しみにしている。
- ・集団活動や個別活動をやっていただけて助かっている。
- ・卒業後の進路に関する情報が欲しい。
- ・安心して通える場所があり助かっている。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・引き続き、利用者、保護者が安心、安全に通える場所となるために、環境づくりを行っていく。
- ・近隣教室や他事業所、健常児との関りを増やす。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・利用者が過ごしやすく、「居場所」として利用できる環境にしていきたい。
- ・近隣教室や他事業所、児童クラブとの関わりを増やして活動に取り組んでいきたい。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・業務前のミーティングをしっかりと行い、質の高い療育が提供出来ている。
- ・送迎時や連絡帳にてその日の支援や様子について保護者に説明したり、情報共有を行うことが出来ている。
- ・避難訓練を定期的に取り組んでいる。

○改善点

- ・健常児との関りが少ない。
- ・職員の働きやすい環境を作るためのコミュニケーション。
- ・療育スペースの拡充



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・職員が学校の送迎や区の連絡会に参加をして他事業所の職員との関わりを増やしたり外部研修に参加をして、他事業所、児童クラブと関わりを増やし、利用者と健常児との関わる時間を増やしていく。
- ・職員が業務しやすい環境を作ったり、業務分担の見直しを図り、偏った負担を軽減していく。
- ・備品配置やレイアウトを工夫し、療育スペースの拡充を図っていく。

○1年間で取り組む具体策

- ・区の連絡会に参加したり、外部研修に参加をして他事業所との関わりを増やす。
- ・職員の業務の再分配、また全ての職員が計画的に有給休暇をとれる環境を作る。
- ・パニックを起こした場合にクールダウンができるスペースを作る。

スマートキッズ